

# 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年 4月19日(火)

2 調査対象 第6学年児童20名

## 3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

## 4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回っていました。  
算数は、全国平均を下回っていました。  
理科は、全国平均を下回っていました。

(2) 児童質問紙調査

### 成果が見られた項目

○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

○5年生までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていますか。

### 課題が見られた項目

●携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について家の人と約束したことを守っていますか。

●普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどのくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

●学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。

## 5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では特に活用力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

・ICT機器の効果的な活用等による「わかった・できた」が実感できる授業の実施。

・すべての教科の授業で児童が積極的に考え、工夫して発表したり書いてまとめたりする場を多く設定する。

## 6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について

・適切な使用の仕方についてのルールの確認

○家庭学習について

・家庭学習時間の確保